

繁殖部部長 田渕哲次

犬のアムドパルボウイルス (Amdoparvovirus) について

経緯

2014 年に中国のタヌキやホッキョクギツネで発見されたウイルスで 2026 年にセルビアでドーベルマンの集団発生が確認され 家庭犬での自然感染が初めて科学的に報告されています。

主な症状

重度で長期にわたる多臓器不全を引き起こし、結膜炎、目やに、ブルーアイ、鼻水、体重減少、黄疸、肝障害、さらには、神経症状がみられることがある。

犬を輸入するときは、PCR 検査をしてからの輸入を推奨致します。

詳しくは、National Library of Medicine (NIH) のホームページから Amdoparvovirus : で検索して和訳してください。